

令和5年度 第3回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月11日（水）15時00分から16時30分まで
- 2 場 所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、御園崇、渥美浩明、岡本和久、寺田祐真、清水久美子、永田洋介、鈴木あゆみ
- 4 欠席委員 山田善万、長坂恭輔
- 5 オブザーバー 井口敏浩（三ヶ日協働センター）
- 6 学 校 江間昌史（校長）、河合司（教頭）、岡田充弘（教務主任）、西田光男（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 西田光男

9 議長の選出について

司会の河合教頭から、議長の選出について、これまで同様に高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 体育大会等、教育課程について
- (2) 総合的な学習の時間の見直しと課題
- (3) 学校支援について
- (4) その他

11 会議記録

司会の河合教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 体育大会等、教育課程について

議長より、体育大会の内容、今後の実施時期について感想や意見を求めたところ、委員より以下の発言があった。

- ・9月の暑さを考えると、時期を遅らせられるのならその方がよい。（寺田委員）
- ・小学校は5月や6月の開催だが、その点も考慮して検討したい。（高橋委員）
- ・各組の団長が素晴らしかった。各クラスが団結し、盛り上げていく時間を考えると、秋の開催がよいと思う。暑さのこともあるので、今よりも1～2週間後がよいと思う。（永田委員）

- 応援練習の時間の確保を考えると、時期を後ろにずらせるとよい。
(寺田委員)
- 閉会式後に行われた「逃走中」の企画がとてもよかった。生徒がとても楽しそうに参加していた。開催が10月に近づけば雨天も少なくなり、天候の心配も少なくなるので、そのほうがよいのではないかと思う。(岡本委員)
- 2学期に実施されている「合唱コンクール」「三中祭」との兼ね合いを考えて実施時期を検討していくことになると思われる。仮に10月に実施するとしたとき、10月は地域のイベントが多く、土日の開催では日程が重なることが考えられるが、平日開催という選択はどうか。(江間校長)
- 本年度、土曜日に開催し、久しぶりに保護者も参観することができた。やはり、多くの保護者が参観を望んでいるだろうから、平日開催はできるだけ避けていただければ、ありがたい。土曜日の開催がのぞましい。(永田委員)
- 例えば、三ヶ日バーガーフェスは土曜日開催だが、三ヶ日中生の参加がメインなので、中学生が参加できるように日程を変更することは可能だと思われる。
(岡本委員)
- 2学期には、新人戦や駅伝も行われるので、それらの行事との兼ね合いも考えながら、調整して決めていきたい。(河合教頭)

(2) 総合的な学習の時間の見直しと課題について

議長の指示により、河合教頭から総合的な学習の時間の活動の様子と成果を「三中祭」で発表する旨の説明があり、学習活動に関する意見や今後の課題を委員に求めたところ、以下の発言があった。

- すばらしい活動をしているので、一般の方々にも活動内容が伝わるように、三中祭を一般に公開することを考えるのもよいと思う。(渥美委員)
- 本年度は豪雨の影響で総合的な学習の時間が3回削れてしまい、予定していた活動をするための時間が足りなくなった。その場合、その時間を補填できるよう、学校として対応していただけるとありがたい。(寺田委員)
- すぐには難しいが、他教科との調整も考えながら対応していきたい。
(岡田教諭)
- 生徒数の変遷を考えると、今後チームの合併や新設が考えられるが、合併までしなくても、グループによって共通の視点、目的などがあれば「2チームまたは3チームが合同で活動する」ということがあってもよいと思う。例えば、「広報という目的で一緒に活動する」というようなことが想定できる。そのために、アドバイザー同士の話し合いができるとよい。(寺田委員)
- 1学期に活動を進め、生徒のモチベーションが上がったところで、夏休みに入ってしまう。2学期になると、モチベーションが落ちているので、夏休みに、

総合的な学習の時間を1回いれていただけると、モチベーションが維持できると思う。(寺田委員)

- 年度末くらいにアドバイザー同士の話し合いがもてるとよい。(岡本委員)
- 年度当初、異動してきた教員が、年間を見通して活動を考えていくのは大変難しいことでもあるので、前年度のうちにアドバイザー同士や教員との話し合いの機会があると、今後につながっていくと思う。時期としてはいつ頃が適切か。(河合教頭)
- 三中祭以降に少なくとも1回、できれば2回もてるとよい。(寺田委員)

(3) 学校支援について

議長の指示により、教頭から学校支援について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 現在、ハートふるの活動なども通して先生方と協力を続けているが、先生方の考えを聞く機会や時間がもう少し増えていくとよいと思う。(寺田委員)
- アドバイザーと先生方との交流の機会を増やし、つながりを深めていくのは大切なことだと思う。(御園委員)

(4) その他

議長より、その他の協議事項について確認したところ、江間校長と河合教頭から、雨天時の生徒の送迎による学校周辺の渋滞についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- さくら連絡網で「車で送迎する場合は…」という連絡があると、「車で送った方がよい」という判断になってしまう。連絡のニュアンスが、「送ってください」のように受け止められているかもしれない。(永田委員)
- ミヶ日協働センターまでの送迎とし、そこから徒歩で登校するようにしたらどうか。(寺田委員)

→ 同じ渋滞が協働センターへの交差点で起きてしまう可能性もある。また、協働センター駐車場の使用が可能かどうかという点も確認しないといけない。

(河合教頭)

- 学校前から折り返して戻るのではなく、一步通行にするように保護者をお願いしたらどうか。(渥美委員)
- 警報が出ているときはともかく、雨天時は連絡網を使用せず、一方通行で送るようなルールとすれば、渋滞も少しは緩和されるかもしれない。(岡本委員)
- 交差点での右折車線の渋滞緩和のために、迂回して交差点を直進するようにお願いするのもよいと思う。(永田委員)

→ 迂回路は小学生の通学路になっていて、道幅も狭いので十分注意したい。

(河合教頭)

- 朝は、車のスピードも速く、危険なときもある。お互いに十分注意して、事故のないようにしていきたい。(鈴木委員)

司会から、次回会議は 2024 年 2 月 7 日 (水) 午後 3 時より三ヶ日中会議室で開催する旨の報告があった。